

第27回日本内視鏡外科学会総会 産学連携・医工連携セッション



10月2日～4日までの3日間、盛岡市内において開催された「第27回日本内視鏡外科学会総会」(大会長:岩手医科大学 外科学講座 教授 若林 剛 氏)において、「産学連携・医工連携セッション」を共催しました。

本セッションは、医療機器の世界市場戦略を視野に入れ、医療現場の最前線で活躍している内視鏡外科医によるニーズ発信や高度な技術力を有した地域ものづくり企業によるシーズ発表等を通じて、医学と工学の連携や地域ものづくり企業が参画した内視鏡外科手術機器の開発と実用化を促進することを目的に開催したものです。

同学会総会には約5,000人の参加があり、本セッションにも多くの医療従事者や関連メーカー担当者等が来場しました。参加したものづくり企業からは、「医療従事者との面談等により医療現場のニーズが把握できた」・「今後の医療機器開発のヒントを頂いた」等、好評をいただきました。

また、産学連携・ニーズシーズマッチングセッションにおいて、下記のとおり、いわて医療機器事業化研究会(以下、「研究会」という。)の**会員企業3社**が、医師のニーズに対する自社が保有する技術シーズを発表しました。

本発表は大変貴重な経験となり、会員企業の医療機器産業に対する取り組みの大きな一歩となりました。研究会では、医療関連学会との連携を進めるなど、「参入支援」や「医工連携マッチング」に向けた取り組みを引き続き支援してまいります。

【ニーズ発表】自治医科大学附属さいたま医療センター 一般・消化器外科 助教授 齊藤正昭 氏

【シーズ発表】衛イグノス

【提案内容】画像処理技術の活用

【ニーズ発表】前橋赤十字病院 消化器病センター 消化器外科 部長 富澤直樹氏

【シーズ発表】フィンガルリンク(株)

【提案内容】超音波等を活用した生体情報のセンシング技術の活用

【ニーズ発表】東京大学大学院 医学系研究科 消化管外科 准教授 野村幸世 氏

【シーズ発表】(株)アイカムス・ラボ

【提案内容】マイクロアクチュエーターを使用した医療機器開発



開催概要

- 名称** 第27回日本内視鏡外科学会総会「産学連携・医工連携セッション」
- 日程** 平成26年10月2日(木)～4日(土)
- 場所** いわて県民情報交流センター(アイーナ)8階
- 主催** 第27回日本内視鏡外科学会総会
- 共催** 東北経済産業局、岩手県、(公財)いわて産業振興センター、(株)インテリジェント・コスモス研究機構
- 後援** 独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)

内容

- ものづくり企業の出展(35社:会員企業3社)
- 産学連携・ニーズシーズマッチングセッション
 - 医療現場からの医療機器開発に係る課題・ニーズ発表(8名、9テーマ)
 - ものづくり企業のシーズ発表(16社:会員企業3社)
- ニーズ解析に基づく産学連携・医工連携シンポジウム
- PMDAによる医療機器開発に関する薬事戦略相談



「いわて異業種交流討議会」 交流会(第4回)を開催しました

さる10月10日午後、いわて異業種交流討議会(いいこと)の第4回交流会を開催しました。

今回は盛岡市の「東日本機電開発(株)」を見学、同社の配電盤、制御盤の設計～製作、及び家畜排泄物リサイクルシステムについて理解を深めました。出席したメンバーの所属する企業とは異なる事業で、大いに参考になったとのことでした。

その後、同社内にて当センターの藤井克己顧問による進行のもと「各社における産学官連携等の取り組みについて」をテーマにディスカッションを行い、活発な意見交換を行いました。

なお11月5日には第5回交流会を開催済です。今後も毎月、企業見学や講演会等を行い、県内産業のさらなる興隆に向け、異業種交流を深めていきます。

無料で企業の 皆さまを支援します! よろず支援窓口

皆さまの？に
お答えします

総合的・先進的
経営アドバイス

チーム編成を
通じた支援

的確な
支援機関等の紹介

これまで本誌でお伝えしているように、当センターでは6月30日より「よろず支援窓口」(中小企業庁所管)を設置し、企業の皆さまからのご相談にお応えしています。

県内の企業・創業者であれば、無料で何度でも相談を受けられます(1回1時間まで)。

相談は予約が必要ですので、お電話またはメールにて、お問い合わせ下さい。予約状況は、ホームページでご確認いただけます。

■コーディネーター



伊藤 朗

中小企業診断士、マーケティング、IT活用、事業計画作成等



山口 敏

中小企業診断士、事業戦略立案、ブランディング戦略立案、マーケティング戦略立案、ソーシャルビジネス支援



中村 春樹

中小企業診断士、マーケティング、IT活用、事業計画作成等



藤井 登

マーケティング、6次産業化支援、食関係新商品開発支援



小山 康文

知財支援、ものづくり支援、大学等研究機関との連携支援、ものづくり企業のマッチング支援

■3ヶ月間(6/30～9/30)の相談状況

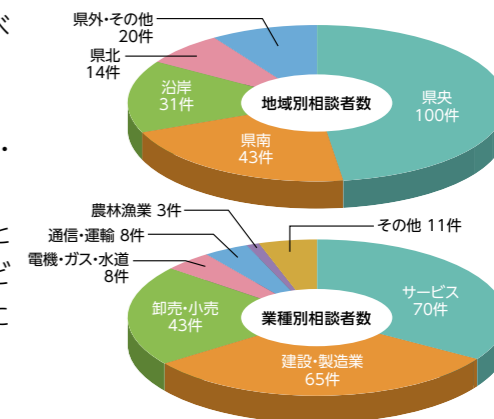
よろず支援拠点ではこの3ヶ月間で、208名の相談者から、のべ909件のご相談に応じました。

地域別では、県中部(盛岡周辺)が約半数を占めています。

業種を見ますと、サービス業が最も多く、次いで建設・製造業、卸・小売業となっています。

内容の分類では、「売上拡大」「資金繰り」「経営改善」がトップ3となっています。このほか「海外販路開拓」「事業承継」「雇用・労務」など広範囲にわたります。なお相談内容をカテゴリーに分けると、「経営」にかかる相談が3分の1あり、「売上戦略」の相談がそれに続きます。

また創業に関する相談もいただいています。



■相談事例

***創業&スタートアップ支援(創業前～創業後3年未満の企業)**

戦略構築、資金調達、計画策定支援、補助金申請支援など

***既存企業(創業後3年以上経過の企業)**

製品開発と販路確定、特許等申請・発明協会に橋渡し、補助金申請支援など

***経営改善支援**

再生支援機関への橋渡し、資金繰り助言・計画策定支援、事業承継等支援

■今後の予定

盛岡市の事務所にて相談を受け付けておりますが、今後よろず支援窓口では、県内各地にコーディネーターが出向き、県主催の相談会などで相談をお受けしたり、単独で相談会を開催することも検討しております。近くにまいりました際は、お気軽にご利用下さい。

窓口・お問い合わせ先

[電話] 019-631-3826 [メール] yorozu@joho-iwate.or.jp
 [場所] 盛岡市北飯岡2-4-26 岩手県先端科学技術研究センター(岩手県工業技術センター隣)
 [対応時間] (祝祭日・年末年始のぞく)月～金曜日午前9時～午後5時(12時～1時は休憩)
<http://www.joho-iwate.or.jp/yorozu/>